

令和6年度 第1回 石見養護学校 学校運営協議会 報告

1. 日時 令和6年5月27日（水曜日）9：20～11：45
2. 場所 石見養護学校 会議室
3. 参加者 学校運営委員8名（2名欠席）、
学校：校長、事務長、教頭、学部主事、寄宿舍指導員長、総務部長、進路指導部長、
特別支援教育コーディネーター、地域連携コーディネーター 10名

4. 次第

<はじめに>

- 開 会
- 校長挨拶

※本日 会長：平川委員、副会長：西川委員 をお願いする。本日両名とも欠席。
議事進行：三浦委員に依頼。他の方の出席は多数であるため、議決は成立する。

<議 事>

○議案：今年度グランドデザイン及び学校運営方針・重点目標について〈校長より〉→ **承認**

<授業及び学校施設見学>

- 教室棟 ・小学部・中学部・図書館等
- 寄宿舍
- グラウンド周辺通学路の様子 など

※高等部及び特別教室棟は、今後、別の機会に見学していただく。

<学校評価今年度重点目標説明> ～各学部、分掌等より

○重点目標等について

- ① 対話を通じた学校づくり（豊かな心・コミュニケーション）
- ② 研修による専門性の向上
- ③ キーワード「継続発信！」～誰にどのように伝えるかを考えよう～
- ④ 地域連携について
- ⑤ 特別支援教育センター的機能について

<意見交換> ～各委員より自己紹介及び意見・感想等

○校長の話の中のウェルビーイングの考え方に感銘。職場の安心できる関係性を高め、
組織内の信頼感が実感できればウェルビーイングが高まり評価数値も上がっていく。

○自分の気持ちを伝えるには、言葉による手段だけではないことに気づかされた。
一人一人の実態に応じた手段を考えていく考え方を、自分自身深めていきたい。

- 教職員が子供たちに愛情をもって接しておられ、地域の子供を安心して任せられると感じている。地域との連携の部分で協力できるようにしていきたい。
- 邑南町と連携した取組がさらに進み、地域の方も交えて活動が膨らんでいくことを望んでいる。(特に「木育プロジェクト」「みらいファクトリー」など)
通学路の安全確保のための横断歩道の修正が、早く取り組めるように協力したい。
- 教育、行政、地元企業の方々が集まって学校のために意見交換する場があることは有意義だと感じた。
- 町内の企業はどれも人手不足の状態。養護学校からも企業に就労してもらえると有難い。
重点目標は、誰にどのようにアクションするのか、方向性を明らかにすることを考えることが必要であると思われる。
- 雲井の里での作業学習の作品販売に協力させてもらっている。地域の方も喜んでおられ、学校の活動の様子も伝えられる。
ICT活用を子供の実態に応じて取り込んでおられ、日々工夫されていると感じる。
- 学校施設、特に寄宿舎を見せてもらえて様子が分かり良かった。
- 地域連携担当者と協力して情報共有を進めたい。矢上高校との連携も図れるよう情報提供していきたい。

< 質疑、応答等 >

●IWAMI マルシェの開催。口羽地域での開催が今年度はなくなってしまうのか。

⇒ 高等部より応答

もともと、年1回「かがやき作品展」大きな販売会を実施していたが、コロナ禍により大規模な実施が難しく、小規模な開催で生徒の出身地域にて開催することを考えてマルシェを始めた。今年度は、負担を考えると、昨年度より回数を減らし、在籍生徒の出身地域を優先して考え、大田地域を入れることを考えている。
矢上高校との連携する機会も増やす予定。

<おわりに>

- その他、事務連絡 年間予定の確認
- 校長挨拶
- 閉 会